

DIVERSITY



ダイバーシティ 2019 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

令和 5 年度事業活動報告

令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月までの活動内容をご報告します。

「Fem Tech（フェムテック）」をテーマにシンポジウムを開催！



11月29日にダイバーシティ研究環境実現シンポジウム「ビッグデータが導く革新と可能性～経済産業省が推し進める Fem Tech を活用することで私たちの日常はどのように変化するのか～」を開催しました。Fem Tech は、Female と Technology を組み合わせた造語で女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスを指すものです。ハイブリッド形式により開催され、教職員、学生、一般市民、自治体、企業等の関係者など約 200 名が参加しました。

生理日管理ツール「ルナルナ」の開発・運営を行う「株式会社エムティーアイ」執行役員・日根麻綾氏から、ビッグデータを活用したアプリ開発秘話や Fem Tech の経済効果、女性の健康課題への理解の重要性等をご講演いただき、講演後には教員や地元学生等から活発な質問が寄せられました。講演後のアンケートでは、「フェムテックの課題や期待について大変よく理解できた」「自分は男性だが、周囲の女性のことを考えるとより一層の理解が必要と感じた」等の声が寄せられ、大いに有意義なシンポジウムとなりました。

長岡市内の女子中高生を対象にプログラミング体験講座を開催しました！

11月23日に長岡市内の女子中高生を対象とする新潟県内初のプログラミング講座「Waffle Camp ホームタウン in 長岡」を開催しました。本講座は、IT 分野のジェンダーギャップの解消に向け、IT スキルの提供と IT 分野のキャリア支援を目的に、次代を担う女子中高生が理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択をできるようにすることを目指すものです。

長岡市、長岡工業高等専門学校の共催により、全国各地で女子中高生向けの講座を展開する NPO 法人 Waffle がウェブサイト制作を学ぶ講座のほか、女性 IT エンジニア等によるキャリアトークを実施し、女子中高生 9 名が参加しました。ウェブサイト制作の際は、2～3 人の受講者に 1 人の指導者（現役女子大学生によるメンター）がつき、受講者は「長岡の偉人」や「世界の猫」、「冬のスイーツランキング」など各自が好きなテーマで楽しくサイトを作成しました。キャリアトークでは、実際に企業で働く女性エンジニアから、仕事や日々の過ごし方、学生時代の生活などをお話いただき、受講者がこれからの進路選択やキャリアを考えるための一助となりました。

受講者からは、「現役女性エンジニアの方の話が聞けて、良い印象をもった」「女子大学生の先生が、優しく丁寧にたくさん褒めながら教えてくれたから楽しかった！」という感想が聞かれました。

今後も地域と協力して工学系分野の女性研究者・技術者育成のため、女子学生へのすそ野啓発活動を推進してまいります。



「オレンジ・デー」啓発 女性への暴力撤廃のため3大学1高専が連携

国連では、女性に対する暴力に反対する国際デーである11月25日から12月10日を「女兒・女性に対する暴力撤廃活動」のキャンペーン期間「オレンジ・デー」と定めています。長岡技術科学大学は、長岡市内の長岡造形大学、長岡崇徳大学、長岡工業高等専門学校とともに「オレンジ・デー」の趣旨に賛同し、学内外での意識啓発活動に取り組みました。この取組は、暴力のない明るい未来を象徴するオレンジ色のものを身に付けることにより意識啓発を促すもので、期間中、賛同する教職員や学生たちがオレンジ色のペンやネクタイ、スカーフなどを身に付け、女性への暴力撤廃を呼びかけました。同大では、着用できるオレンジ色のものが少ないとの声を受け、SDGsプロモーターの学生たちと一緒に「SDGsゴール5：ジェンダー平等」を掲げ、オレンジ色の缶バッジの配布を行うなど、全学一体となって啓発活動に取り組みました。



「女性躍進賞」表彰式・女性のロールモデル講演会を開催



12月13日、本事業の連携機関である、長岡技大、長岡工業高等専門学校、(株)イトラストに所属し、優れた業績を挙げ、技術開発の発展、向上に貢献したと認められる女性研究者・技術者を対象に顕彰を行う「女性躍進賞」の表彰式を開催しました。顕彰により女性研究者・技術者の研究意欲を高め、将来を担う優秀な人材の育成を図り、連携機関におけるダイバーシティの推進に資することを目的としています。表彰式では、ダイバーシティ連携推進会議議長である鎌土重晴学長から受賞者の同大・環境社会基盤系 松田曜子准教授へ表彰状が授与されました。



表彰式後には、同会場で女子学生及び女性教職員を対象とする「女性のロールモデル講演会」が開催されました。講師の大阪大学 接合科学研究所 梅田純子教授は、「私が溶接女子になるまでにしてきた10くらいのこと」をテーマに、自身の経歴やキャリア形成のために心がけてきたこと、文系から理系研究者への道のりや研究者・教員としての想いなどを熱く語り、講演後には学生や教員から活発な質問が寄せられました。あたたかい雰囲気の中、大いに盛り上がるセミナーとなりました。

女性のための管理職セミナーを開催

2月20日、「女性のための管理職セミナー」を開催しました。本セミナーは、女性教職員の上位職登用を目指し、管理職やリーダーへの漠然とした不安を払拭し、リーダーとして成長し、自律的なキャリア形成意識を育てることを目的とするもので、新潟県内の民間企業や大学からなるダイバーシティ連携機関・協力機関に所属する女性教職員・社員ら33名が参加しました。講師に長岡造形大学理事長 佐々木順子氏を招き、「女性が管理職に就くということ～企業と大学での経験を通じて～」と題して、企業での管理職経験と大学理事の立場から、ご自身のキャリアアップの体験談やリーダーのあり方についてご講演いただきました。

参加者からは、「サーバントリーダーシップのことが分かり、大変勉強になりました」「リーダーとは場を整える人、という表現が、とても想像しやすく目指しやすい表現でした」といった感想が寄せられるなど、満足度の高い会となりました。今後も女性教職員の上位職登用を目指し、意識啓発や人材育成の取組を継続してまいります。



学長が新任教職員と「働きやすい職場環境」について懇談

長岡技術科学大学では、2月29日に、採用後1、2年の教職員を対象とする「学長と新任教職員とのワーク・ライフ・バランス懇談会」を開催し、42名の新任教職員らが学長及び執行部と懇談を行いました。本懇談会は、同大が策定した男女共同参画推進アクションプランに基づき、教職員が家庭生活と仕事との両立を図る上で必要な措置等を検討する機会として開催するもので、加えて、ワーク・ライフ・バランス相談室や、男女共同参画推進に関する各種支援制度の周知も行う機会として毎年実施しています。

冒頭の学長挨拶では「教職員が仕事と生活を両立し、充実した日々を送ることができる職場環境の整備を進めるために、本日はどんな些細なことでも構わないので、ワーク・ライフ・バランスに関する思い、悩み、提案などをお聞かせいただきたい」と開催の趣旨が述べられました。和やかな雰囲気の中、子どもの急病時

や小学校等の長期休業時の預け先をどうしたらよいか、在宅勤務や業務改善等への要望や組織における意識啓発の必要性、将来の介護への不安など多岐にわたる話題で活発な意見交換がなされました。

参加者からは「懇談会に参加し色々な制度がある事を知ることができた」、「学長や執行部がワーク・ライフ・バランスの推進に非常に熱意を持っていることが実感できて安心できた」といった感想が寄せられ、有意義な会となりました。さらなる教職員のワーク・ライフ・バランスの向上を目指し、本懇談会で出された意見や要望を踏まえながら、今後も取組を継続してまいります。



令和5年度外部評価委員会を開催しました。

2月6日に外部評価委員会を開催し、ダイバーシティ研究環境に向けた事業実施体制の確立と、女性研究者の採用・登用人事の推進、組織全体の改革意識、女性研究者のキャリア支援、ライフイベント支援、地域・企業連携による女性研究者支援の5つの柱について、進捗状況を報告しました。有識者からなる外部評価委員4名からは、企業との連携や地域へのダイバーシティ推進の波及等について様々なアドバイスや改善点が提示されました。ダイバーシティ推進に向け、次年度以降の取り組みに活かしてまいります。



「えちご・ものづくりダイバーシティ・コンソーシアム」設立に向けて

新潟県内の工業・工学系及びデザイン・流通など関連業界において、多様な属性や生活背景をもつ成員が個々の能力を発揮し生き生きと働けるダイバーシティ職場・研究環境を波及するとともに、人材育成を図ることにより、労働力を確保し、産業を活性化させることをミッションとする「えちご・ものづくりダイバーシティ・コンソーシアム」の構築に向け、企業等との連携による準備委員会を立ち上げ、様々な取り組みを実施しています。令和5年度は以下の取組を実施しました。

企業と学生の交流会

日時：令和5年6月28日
参加学生 189名

コンソーシアム準備委員会 総会

日時：令和5年11月29日
参加者 20名(13機関)

コンソーシアム準備委員会 勉強会

日時：令和6年1月17日
参加者 22名(10機関)

パパの育休 体験記

長岡技術科学大学 職員 Xさん (仮名)

今回、第三子にして初めて出生時育児休業および育児休業を取得しました。世代の違いもあるのですが、親世代の方からは、「育休取って何するの?」と言われてたりしました。育休取得の有無にかかわらず、家事・育児ではやるのが山のようにあります。妻は専業主婦で家庭を守ってくれていますが、出産直後に家事・育児をこなすことはかなり大変かと思しますので、妻の代わりに家事・育児を全部やるくらいの気概を持って育児休業に入りました。

長期間朝から夜まで一日中ずっと子どもと一緒に密に過ごすことはなかったため、何よりも得難い経験であり、生まれたときには小さかった赤子がどんどん成長している様子を見守ることができ、とても充実した期間を過ごすことができました。(人生で初めての寝返りの瞬間にも立ち会うことができました)

育児休業中はルーティンをこなすだけで一日があっという間に過ぎていき、育児休業も気がついたらあっという間に終わってしまいました。仕事をしながらだと難しいことも多々あったので、育児休業を取得して妻と一緒に子育てをすることが出来て本当に良かったです。



令和6年度前半事業実施計画(予定)

- 5/10(金) 「20代30代の集い」
会場：ミライエ長岡
- 5/23(木) 「仕事と介護の両立セミナー」
会場：Zoomによるオンライン開催
- 6/14(金) 「男性の育休取得促進セミナー」
会場：長岡技術科学大学 & Zoom
- 6/15(土) 長岡高専×長岡技科大 TE×DI
出前実験講座
会場：ミライエ長岡
- 6/26(水) 大学院生授業
企業と学生の交流会
会場：長岡技術科学大学 & Zoom
- 8/5(月)～ 夏休み期間中の学内一時託児
9(金) 会場：長岡技術科学大学
- 8/18(日) 女子中学生対象プログラミング講座
Waffle Camp
会場：ミライエ長岡
共催：長岡市、長岡高専



Column WLB相談室から

【 3 good things 】

新年度が始まり、自身や家族の環境変化、ゴールデンウィーク明けの5月病など、気持ちの浮き沈みが出やすい時期です。そこで、気分の落ち込みを改善し、幸福度が向上する方法を紹介します。毎晩寝る前に、今日あった良いことを3つ(3 good things)書き出し、なぜ良かったのかを考えてみましょう。一日を振り返った時、良いことを思い出すのか、嫌なことを思い出すのかで、その日の印象も変わります。そして、今まで見過ごしていた良いことに気が付くようになり、幸福度が向上します。その日の良いことを思い出して就寝すれば、良い睡眠にも繋がります。1週間で変化を感じることができると言われています。試してみてくださいね。

WLB相談予約

メール：wlb_soudan@vos.nagaokaut.ac.jp

電話：0258-47-9911

(長岡技術科学大学内線 9911、2170)

長岡技術科学大学ダイバーシティ研究環境推進部門
(3機関連携事務局)
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603 - 1
Tel : 0258 - 47 - 9911 (内線 9911・2170)
Email : danjo@jcom.nagaokaut.ac.jp



編集後記：初めて編集をさせていただきました。読みながら学ぶことばかり。。。夢中で読みました。活躍している女性の姿、オレンジデーの活動や、どんどん広がりを見せている男性育休。ふむふむ。今後のスケジュールの内容も乞うご期待！！
(令和6年5月)